水害のない町に　上平井水門

東京都江東治水事務所

施設名	上平井水門
所在地	葛飾区西新小岩三丁目地内
型　式	鋼製ローラーゲート（パイプフィーレンデール構造）
有効幅	30m×4連
門扉高さ	11．1m
開閉時間	9分（自重閉鎖時間　約3分）
開閉速度	1．0 m／min
非常用発電機	500kVA×2台
完　成	昭和44年度（令和5年度耐震工事完了）

上平井水門の役割

上平井水門は、中川が綾瀬川と合流する地点に位置し、江戸川区、葛飾区、足立区の低地帯を高潮の侵入から守るための水門です。

台風などによる高潮が発生し河川の水位が上昇したとき、地盤高の低い地域では浸水などの災害が起きる恐れがあるため、水門を閉鎖して水害を防ぎます。

また、大きな地震があったときも直ちに閉鎖して津波に備えます。

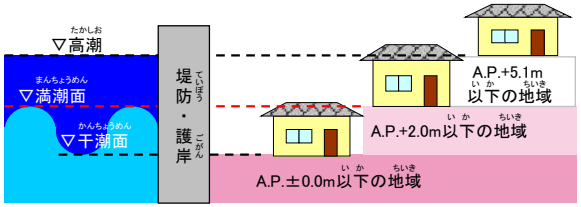
水門閉鎖時の様子

平成23年の東北地方太平洋沖地震発生時には、津波が綾瀬川と中川の上流へ侵入することを防ぐために水門を閉鎖しました。

上平井水門のHPはこちらから

低地帯の地形断面図

低地帯の断面図



A.P.(Arakawa Peil)とは中央区新川付近の隅田川の最低水位を0mと定めた高さの表示方法のことで、標高(T.P.)0mはA.P.+1.134mとなります。